

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

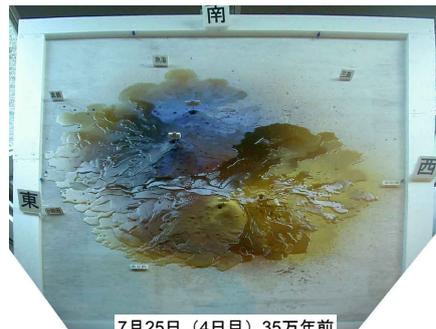
Vol. 14, No. 4

神奈川県立生命の星・地球博物館

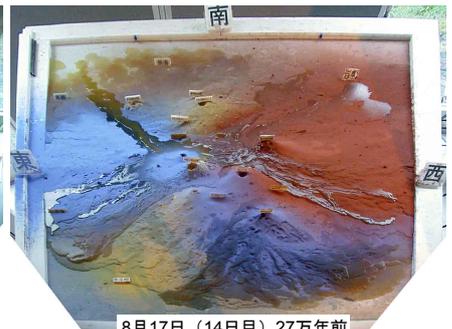
Dec., 2008



7月19日（1日目）65万年前



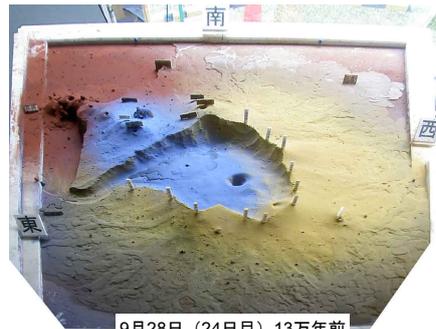
7月25日（4日目）35万年前



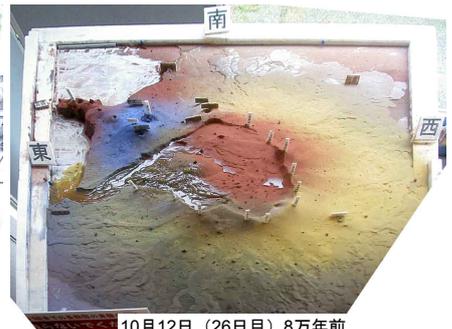
8月17日（14日目）27万年前



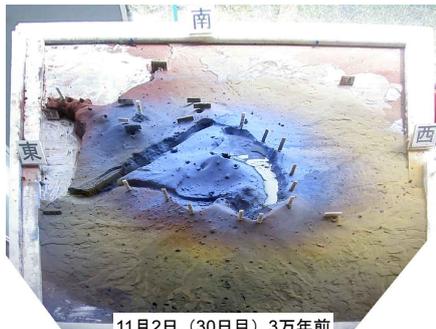
8月31日（18日目）23万年前



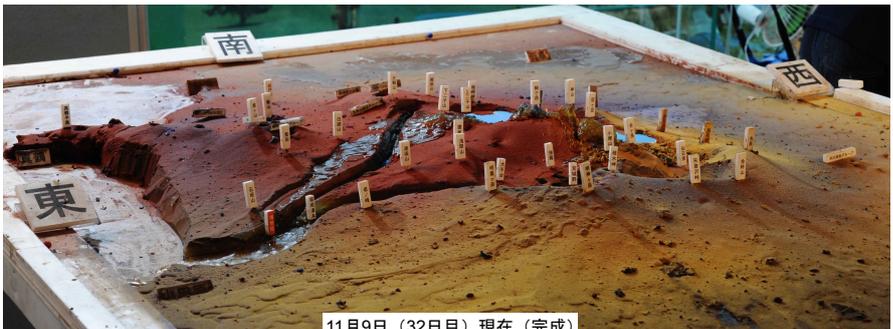
9月28日（24日目）13万年前



10月12日（26日目）8万年前



11月2日（30日目）3万年前



11月9日（32日目）現在（完成）

廃油と砂で作った 箱根火山

やましたひろゆき
山下浩之（学芸員）

2008年7月19日から11月9日にかけて開催された特別展「箱根火山」のワークショップで、溶岩に見たてた凝固剤入りの廃油と火山灰に見たてた砂を交互に噴火させて、箱根火山を作る実験を行いました。箱根火山は、昔の研究では最初に富士山のような巨大な成層火山ができたと考えられていました。しかし最近の研究では、中規模の成層火山が複数できていたと考えられていま

す。この新しい研究成果に基づき、いくつもの噴火口を使って成層火山を複数つくることで、箱根火山の形成史を再現しました。

実験は全部で32日。午前と午後で行なったので計64回にも及び、ワークショップの参加者は、延べ2,520人にも達しました。なお、実験の様子や、箱根火山ができていくまでの途中経過は当館ホームページでご覧になれます。